



くらよし

農業委員会だより

第76号

発行編集

倉吉市農業委員会

鳥取県倉吉市堺町2丁目253-1

TEL 0858-22-8171

FAX 0858-22-8230

令和4年度 県外視察研修実施

コロナに負けず 3年ぶり!!

11月17日(木)～11月18日(金)に四国方面へ県外視察研修に出かけました。



11月17日(木) (株)竹内園芸 上板農場 (徳島県板野郡上板町) トマトポット専用農場



感想

・トマト苗を主体に独自の竹内培土を基本とし、苗の状態を見極めながら主に人力によるかん水等で調整されていました。熟練の栽培管理が大変重要な作業であると感じました。肥料・燃料の高騰により痛手を受けておられるようですが、今後も安全で健やかな苗を届けて欲しいです。時期的なこともあり、今回は少量の苗であったが最盛期のハウス内も見学したいと思いました。(農業委員 早田博之)

・種まきから接ぎ木をして、出荷までの日数が夏で40日、秋で60日はとても効率がよい。人力で水やりをし、苗の育成を観察することはよいことだと思いました。また、育苗ハウス内は菌・虫に対する対策がとられており感心しました。(農地利用最適化推進委員 涌嶋博文)



11月18日(金) さいさいきて屋 (愛媛県今治市) JAおちいまばりグループ店



感想

・野菜、果物等の新鮮さを一番感じました。また、農産物の陳列方法も新鮮さを感じさせました。(農地利用最適化推進委員 鳥飼巧)

・直売所の規模では最大級だと感じました。『第41回日本農業賞・特別部門食の架け橋賞大賞を受賞!』まさにその賞のとおり、駐車場と店舗の広さ、農産物・加工商品の多さにも驚きました。(農地利用最適化推進委員 塚根正幸)

・何年か前に、ここに寄ったことがありましたが、前回訪れた時よりも商品の幅が広がっているように感じました。いろいろな地元ならではの商品が販売され「さいさいきて屋」というネーミングの通り、さいさい行ってみたいと思う施設でした。(農業委員 室山恵美)

※とても有意義な2日間の研修となりました。研修視察を受け入れていただいた施設の皆様に感謝しています。

地域で活躍する担い手を紹介!

「自分たちのための仕事をやりたい!」

井中^{けいすけ}慧資さん・香澄^{かすみ}さん(高城地区で就農)



令和4年2月に、スイカと花(ストック等)で就農された井中慧資さんは、就農2年目となりました。鳥取県立農業大学校の『アグリチャレンジ研修』と鳥取県農業農村担い手育成機構の『アグリスタート研修』を受講し、2名の親方のもとでしっかり研修してから認定新規就農者になりました。現在は、6棟のハウスを建て、香澄さんと一緒に楽しく作業を進められています。県外の大学に進学・就職後、倉吉市にUターンするという決断をされた慧資さんは、「会社をやめて、自分のためにできる仕事である農業をやりたい!! 楽しそうだから自分でもやってみよう」と、鳥取県の就農相談会(東京BIG相談会)に何度も参加し就農を決められました。「会社は、全体のための仕事をするとこだったけど、今は、自分たちのための仕事ができるのでストレスがない。自分で作った物を自分で出荷できることがとても楽しい。もっと収量をあげて質のいい物を作っていきたい!」ととても意欲的です。また、香澄さんは「倉吉での生活はゆったりしていて、家族との時間が持ちやすくなった。子供のためにもいい環境になったので倉吉で就農して本当によかった。」と嬉しそうに話してくださいました。今年2月に、香澄さんも慧資さんと共同経営の認定新規就農者になりました。これからも、夫婦で力を合わせて仲良く頑張ってください。応援しています。(取材:農業委員:河野正人)



「小さくても強く! 少人数でも効率よく! 家族の時間を大切に!!」

柴田^{ゆきひろ}行弘さん・彩^{あや}さん・美根子^{みねこ}さん(西郷地区で就農)

昨年の8月に認定農業者になられた柴田さんは、西郷地区で大原トマト20aと玉葱苗7.5a・きゅうり6a・葉物野菜を栽培されています。大原トマト組合員のみなさんと一緒に販路の拡大、ブランド化を進めておられます。柴田さんは、大原トマトの発起人だった母方の祖父母に後継者がいなかったことから「自分が跡を継いでトマトを作ろう!」と20歳の頃から鳥取県立農業大学校の研修等に積極的に参加され、祖母の美根子さんと一緒に「おいしいものを欲しい(必要な)時期に出荷できること!」を心がけて大原トマトの栽培を進めてこられました。結婚を機に、彩さんも加わり3人で仲良く頑張っておられます。「まだまだ、栽培面の課題はたくさんありますが、病気等がでないように定植時期を考えながら作業を進めています。今は子供が生まれ、家族みんなで毎日一緒に食事ができることが嬉しい。これからも、家族の時間を大切にして、少人数でも効率よく、家族で作業を進めていきたい!」と笑顔で話されました。昨年、柴田さんは夫婦で『農業者年金』に加入され、老後のこともしっかり考えておられます。今後の活躍を楽しみにしています。(取材:農業委員:船越省吾)

トマトを作ろう!」と20歳の頃から鳥取県立農業大学校の研修等に積極的に参加され、祖母の美根子さんと一緒に「おいしいものを欲しい(必要な)時期に出荷できること!」を心がけて大原トマトの栽培を進めてこられました。結婚を機に、彩さんも加わり3人で仲良く頑張っておられます。「まだまだ、栽培面の課題はたくさんありますが、病気等がでないように定植時期を考えながら作業を進めています。今は子供が生まれ、家族みんなで毎日一緒に食事ができることが嬉しい。これからも、家族の時間を大切にして、少人数でも効率よく、家族で作業を進めていきたい!」と笑顔で話されました。昨年、柴田さんは夫婦で『農業者年金』に加入され、老後のこともしっかり考えておられます。今後の活躍を楽しみにしています。(取材:農業委員:船越省吾)

農業者年金に加入しませんか? ♥農業者年金は一生受け取れます!

「国民年金+農業者年金」で安心・豊かな老後を。



農業者年金は、農業者なら広く加入できる **積立方式の終身年金**で、保険料を農業者年金基金が運用してくれます。保険料を将来の年金として積み立て、老後に年金として一生受け取ることができます。

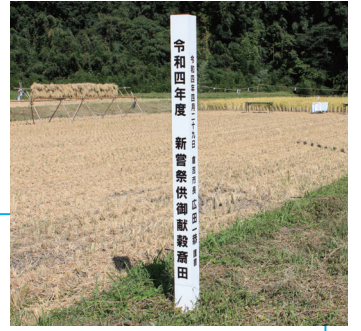
農業者年金の ここが ポイント

- ① 保険料は「**全額社会保険料控除の対象**」・受け取る年金も「**公的年金等控除の対象**」です。
- ② 「**保険料の額は自由に決めることができます。**」(月額2万円~6万7千円)
- ③ 一定の要件を満たす農業者には「**月額最大1万円の保険料の国庫補助**」があります。
- ④ 終身年金なので年金を一生受け取れます。
80才前に亡くなられた場合は、死亡一時金(非課税)があります。

農業者年金には、メリットがいっぱいです。農業者年金のご相談・加入申込みは、農業委員会事務局またはJAへ。

倉吉市から 献穀米(けんこくまい)を献上!!

河野正人・すみ子ご夫妻(大立)が、鳥取県代表として新嘗祭に鳥取県ブランド米「星空舞」を献上されました。播種式(種まき)・田植式・抜穂式(刈り取り)・献穀米引渡式(献上)の全ての神事を終えられた河野さんにお話をうかがいました。



河野さん
より

「献穀米が宮中に無事に届けられた。」と聞いてホッとしました。農業委員をしながらこのお話しをいただいたので、何かの巡り合わせだと感じ、このお話を受けさせていただきます。今回のことは、周りの方々の協力があつたからこそできたことで、一人では成り立たなかつたと思います。とても大変でしたがいい経験となりました。ゼロからスタートした農業で、たくさんの方々に支えていただきこのような名誉ある機会をいただいたことに感謝しています。



「田植式」

山協農業委員会会長「玉串奉奠」

晴天に恵まれた「抜穂式」
河野正人・すみ子ご夫妻

※新嘗祭(にいなめさい) 全国から献納される新穀(新しく収穫した米などの穀物)を天皇陛下が御自ら神にお供えになり、五穀豊穰に感謝祈願をする宮中行事の一つで、毎年11月23日に皇居で行われる重要な儀式。

プレゼントクイズ

応募締め切り
令和5年3月31日(金) 必着

クイズ 昨年の秋、新嘗祭で献上されたお米の品種は何でしょうか? **答え** ○○○

プレゼント商品

マキタ草刈り機用
ファインチップソー (2枚セット)
【5名様】

【提供】有限会社 室山商店
倉吉市住吉町65 TEL0858-23-1655



応募方法

ハガキまたは電子メールにクイズの答え・住所・氏名・電話番号・年齢と「農業委員会だより」を読まれたご意見・ご感想をお書きの上、下記までお送りください。※農業委員会事務局に応募用紙・応募箱を設置します。

応募先

メールアドレス noui@city.kurayoshi.lg.jp
〒682-8633 鳥取県倉吉市堺町2丁目253-1 農業委員会事務局 プレゼント係
※当選者には電話でご連絡します。商品の受け渡しは倉吉市農業委員会事務局です。
※応募されたみなさんからのご意見・ご感想は、「くらし農業委員会だより」記事作成の参考としてのみ使用します。

農業委員会だより(75号)にいただいた声



- 担い手紹介が好きです。読むたびに初心に返れるように思います。(70代女性)
- 農業委員会の活動を知ることができてとても感銘しました。(40代女性)

- 農業は大変というイメージですが、担い手の方々の心底頑張っておられる姿を読ませていただきイメージが一変しました。(60代女性)
- 農業全般の困りごと相談日が毎月あることがわかりました。農業委員会だよりを今までは開いてみてなかったけど目を通すようにします。(70代女性)
- 「地域の担い手を紹介」は、両親に代わって農業を始めた自分にとって励みになりました。もう少し自分にもできるような気がしてきました。(50代男性)
- 農地パトロールの記事を読みました。遊休農地という語句の説明もありわかりやすかったです。実家の農地が遊休農地とならないよう技術の継承・習得に努めたいと思います。(30代男性)
- 字の大きさもよいしカラー写真入りで明るく楽しく元気の出る委員会のお便りです。(70代女性)
- 若い人が農業にとっても魅力を感じておられてとても嬉しかったです。末が楽しみです。(80代女性)



多くのご意見・ご感想をお寄せいただきありがとうございます。

農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集

令和5年7月19日で任期満了となる農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集します。

募集期間 令和5年3月17日(金)～令和5年4月17日(月) 必着

募集人数 農業委員19人 農地利用最適化推進委員9人(担当区域ごとに募集)

※法令により、認定農業者が農業委員の過半を占めること、農業委員会の所掌に属する事項に関し利害関係を有しない者(中立委員)を1人以上含めること、年齢・性別等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならないこと等の規定があります。

募集方法 「推薦」と「自らの応募」の2種類の方法があります。

※詳細は、「募集案内」や市ホームページをご覧ください。「募集案内」は募集期間中、農業委員会事務局で配布しています。

第28回農業委員だより全国コンクール 全国農業新聞賞受賞!!



山協会長 室山編集委員長 広田市長

倉吉市賃借料情報

令和4年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における、賃借料水準(10a当たり)は、次のとおりです。
※下段()数値は、令和3年数値です。

地区	地目	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
倉吉市全域	田	6,300円 (4,900円)	10,000円 (8,000円)	2,000円 (1,500円)	1,114 (1,034)	全件
		4,900円	8,000円	2,000円	699	全件から集落営農組織を除く
	畑	5,000円 (4,300円)	9,000円 (7,000円)	2,000円 (1,800円)	159 (251)	全件
		5,200円	9,000円	2,000円	149	全件から集落営農組織を除く

※近年無償での貸付(使用貸借権設定)件数が増加しています。

令和4年地区別賃借料(平均額) ※全件から集落営農組織を除く。

地区	地目	田	畑	データ数
上北条		5,100円	4,000円	198
上井		5,000円	—	10
西郷		4,600円	—	4
倉吉(上灘・成徳・明倫)		4,000円	—	3
灘手		3,000円	6,000円	10
社		4,600円	5,400円	129
北谷		5,300円	4,200円	56
高城		4,400円	5,200円	64
小鴨		4,800円	5,000円	13
上小鴨		4,700円	5,000円	60
関金		4,800円	3,700円	301

くらし農業に関する相談会

市民の皆さん 
 農地や農業全般についての困りごとを
 農業委員に相談してみませんか!!

●今後の相談会の開催日(毎月1回・第3水曜日予定)

令和5年	3月15日 会議室301	4月19日 会議室303	5月17日 会議室303	6月21日 会議室303
	7月19日 会議室303	8月16日 会議室303	9月20日 会議室303	10月18日 会議室303
	11月15日 会議室303	12月20日 会議室303		
令和6年	1月17日 会議室303	2月21日 会議室301	3月21日 会議室303	

- 相談場所：市役所第2庁舎3階 会議室
- 相談時間：午前9時から正午まで

10月～1月は、午前と午後を実施します。

午前：9時～正午 午後：1時30分～4時

【お問合せ先】農林課／農業委員会事務局

令和5年倉吉市農作業標準料金

令和5年(1月1日～12月31日)の農作業標準料金は下表のとおりです。

標準額は、農作業の受委託の際の目安となるものです。
但し、決定については、当事者間で話し合ってください。

作業区分	標準額(税込)	摘要(10a当たり)	
普通田植	7,700円		
側条施肥田植	8,800円	肥料代は別途計算	
薬剤同時処理田植	8,800円	薬剤代は別途計算	
荒かき	5,500円		
植え代かき	7,700円		
コンバイン	稲	17,600円 雑草・変形田・5a未満等 20%増 倒伏30～69% 20%増	
	麦	13,200円 倒伏70%以上 30%増 (但し、当事者間の話し合い)	
	大豆	9,350円 結束3,300円増	
バインダー	9,350円	ひも代含む。倒伏30%以内加算可能	
ハーベスター	9,350円	依頼者1名出役のこと	
耕耘	田 全耕	7,700円	
	畑 全耕	6,600円	
	深耕	16,500円	ロータリーによる
薬剤散布(液剤)	3,300円	ブームスプレーヤによる 薬剤代は別途計算	
肥料散布	1,600円	機械散布・肥料代は別途計算	
一般農作業	7,200円	1日8時間	
大豆 小豆	播種	5,500円	施肥同時の場合は1,100円増
	中耕培土	5,500円	
	脱穀	6,050円	依頼者1名出役のこと
麦	播種	5,500円	
畦づくり	80円	片畦1m当たり	
もみ・大豆 運搬	小袋	165円	小袋(1袋)
	大袋	6円	大袋(1kgにつき)※袋使用料込
草刈り	1,650円	畦1時間当たり(機械・燃料代含む)	

(注) 標準額は消費税込みで表示しています。
環境不良の田、畑(変形の圃場・湿田等)は20%増とします。

農業の最新情報を提供する



発行日：毎週金曜日
購読料：月700円(税込)

購読の申し込みは、
農業委員会事務局まで。

編集後記

「くらし農業委員会だより」は編集委員5名で作成しています。今回は、「視察研修」と「担い手の紹介」をメインに編集しました。これからも、皆様に親しんでいただける広報誌となるよう皆様からの身近な情報・ご意見などをお待ちしています。(編集委員一同)

倉吉市農業委員会

検索 

